社協だより

福祉わくや

2019.11
第136号

おらほの集いの場！ 9の1区

YYサロン（わいわいサロン）

昨年度立ち上げた月1回開催の集いの場「YYサロン」は、もうすっかり地域に馴染んでいます。

多くの方が参加できるように、作成した年間予定表を掲示板に貼り出したり、地域の皆さんへ配付しています。毎月の実施内容にも変化をもたせ、地域の皆さんが好きなものを選んで参加できるようにしています。10月は涌谷幹部交番、町防災交通班の方々を講師に、交通事故や詐欺の被害防止について学ぶ安心安全教室を開催しました。11月には行政区内の料理上手な方を先生に、料理教室を開催する予定です。

名前に込めた「みんなでワイワイガヤガヤ楽しく過ごせる場所にしたい」という願いが叶っています。

日　時：毎月第1水曜日　10:00～
（1月、8月除く）
場　所：やすらぎ荘

支えあおう

●福祉作文・福祉ポスター・福祉標語コンクール入賞作品　2～5ページ
●お知らせ　6～7ページ
涌谷町災害ボランティアセンター開設
●おらほの良いとこみーつけた!!　8ページ
編集後記　等

学びあおう：福祉学習・人材育成等
支えあおう：住民同士の支えあい・相談支援等
通じあおう：交流連携・情報共有等

学びあおう
支えあおう
通じあおう

涌谷町地域福祉活動計画「3つの活動方針」

● 作文の部 ●

最優秀賞

「勇気を出して」

涌谷中学校　3年
柴（しば）　隆晟（りゅうせい）　さん

この夏休み、母の実家に行きました。母の実家には祖母がいます。僕の祖母は、僕が生まれるよりずっと前に心臓を悪くして脳梗塞を起こしたのだと母から聞いています。祖母は、自分の身の回りのことは全て自分で出来るし、僕の出場するコーチングの大会や吹奏楽コンクールなど一人で地下鉄やバスを使って応援に来てくれていたので、体に不自由なところがあることや年をとってきたことなど、これまでは考えてみることはありませんでした。小さいころを思い出してみても、他の家のおばあちゃんのように抱っこしてくれたりおんぶしてくれたり、公園に連れて行ってくれることはなかったなということくらいしか思いつくことはありません。今になって思えば、左手にあまり力が入らなかったり、すぐに息切れしてしまったりするので、抱っこなどは難しかったのだと思います。

その祖母からこんな話を聞かされました。

「おばあちゃんね。この間、自衛隊の音楽隊のコンサートを聴きに行ってきたの。おばあちゃんは音楽が好きなことは知っているでしょう?.演奏会に行くのが今の一番の楽しみなの。でも、この年になると、少し歩くと息切れはするし、左手が不自由だから、片手で荷物を持ってバスのつり革につかまるのも大変だし。コンサートの会場にたどり着くのも一苦労なのよ。」

と。続けてこんな話をしていました。地下鉄駅を出て、ホールまでどちらに向かって歩いたら良いか分からなくてキョロキョロしていたところ、高校の制服を着た女の子に

「何かお困りですか?」

と声をかけられたそうです。行きたい場所を説明すると、ホールまで5分ほどの道を親切に入口まで案内してくれたそうです。会話をしているうちに分かったことですが、その高校生は、ホールとは全く逆方向の場所に用事があったのに、わざわざ祖母のために逆戻りをして道案内をしてくれたとのこと。祖母が

「申しわけないから途中までで良いですよ。」

と話すと、

「どうせ暇ですから、お気になさらず案内させて下さい。コンサート、楽しんできてくださいね。」

と笑顔で話してくれたそうです。

「今の若い人は、人の気持ちが分からない人が多いと言うけれど、優しい心を持った子もいるのね。病気と年のせいで出来ないことが増えてきたおばあちゃんみたいな人間でも、周りの人に助けられて、人生を楽しみながら生きていいんだと元気づけられたわ。本当に素敵な高校生だったのよ。隆晟ももうすぐ高校生だから、誰かが困っていたら声をかけてね。」

と。

その話を聞いて僕は思いました。僕は困っているかもしれない見知らぬおばあさんを見かけたときに、自分から声をかけることができるだろうか。もし迷惑がられたらどうしようとか、恥ずかしいし誰かほかの人が助けてくれたら、と後ろ向きに考えて逃げ出してしまうかもしれません。そんなことを考えていたら、その迷いが祖母に伝わったのか、続けて祖母がこんなことを話しました。

祖母も四十代で脳梗塞を起こした直後は、人に助けてもらうことが恥ずかしくて、手を差し伸べられてもなかなか受け入れられなかった時期があったそうです。もし、声をかけて断ったり怒ったりする人と出会ったら、手助けが必要だということを受け入れる心の準備ができていない人なのかもしれないなあと優しい気持ちで見てあげてほしい。迷って声をかけないことで、本当に助けてほしい人が助けられないことのほうが悲しいことだと。

今回、祖母はこういう考えをもっていたのだと初めて知りまし

た。断ったり怒ったりする人にも受け入れられない苦しみがあるのかもしれないなどと、想像してみたこともありませんでした。

もし、困っているかもしれない人、助けが必要かもしれない人に出会ったときは、これからは積極的に声をかけたいです。人見知りな僕にとって、最初は迷ったり勇気が必要だったりするかもしれません。そんな時は、祖母の笑顔を思い浮かべながら、勇気を出したいと思います。

「何かお困りですか?」と。

優秀賞

「ありがとう介護士さん」

通谷第一小学校　5年
吉田（よしだ）　咲紀（さき）　さん

私のおっぴさんは2年前に施設で亡くなりました。元気な時は自宅ですもうを見たり、歌のテレビを見て歌ったりしていました。でも風邪をひいてから徐々に体力が低下していき、思うように体が動かなくなっていきました。今までできていた排泄も失敗するようになり、あんなに好きで毎日入っていたお風呂も3日に1回、4日に1回と入らなくなっていきました。私のおばあちゃんと、お母さんでおっぴさんのお世話をするのですが、昼夜関係なくオムツの交かんや体の移動などしなければならず、疲れはてて施設入所する事になりました。施設に入ってからはスタッフの方が交たいでおっぴさんのお世話をしてくれて、時々私が会いに行くと「おーおー、よく来たねー。」と笑顔でむかえてくれました。施設の人達はみんな優しくしてくれて、助かっているそうです。2～3時間おきにオムツの点検や、食事の手伝い、着がえの手伝いなどしてくれるそうです。中には、ねたきりの人も入所しているそうでオムツの交かんの時に、体の体せいをかえてあげたり、具合の悪い所がないか、体の観察もしていくそうです。家で私のおばあちゃんとお母さんがおっぴさんのお世話をしている時は疲れきった顔をしていたけれど、施設の人は笑顔で嫌な顔ひとつみせず何十人の人のお世話をしていてすごいなぁ…と思いました。おっぴさんが施設に入る前は本当に施設に入れていいのかすごく悩んでいましたが笑顔のおっぴさんを見ていると、家にいた時とは違い楽しそうで、本当によくしてもらっているんだなぁと安心しました。おっぴさんが亡くなったのは悲しいけれど楽しそうに笑っていたあの顔は忘れられません。誰かを助けてあげたり、優しくしてあげることは、自分の気持ちも明るくうれしい気持ちになるので、私も困っている人がいたら手をさしのべたいです。

優良賞

「支え合える社会になるためには」

通谷中学校　2年
佐藤（さとう）　芽依（めい）　さん

私が小学生の時、近所に認知症をわずらっているおばあさんがいた。そのおばあさんは、一日に何度も周りの家のインターホンを押し、仕事に出かけているはずの娘さんを探していた。

私の近所の人は皆迷惑がっていた。時には、

「あなたの娘さんなんて知らないよ。出ていけ。」

とおばあさんを叱る人もいた。私もその当時は、迷惑なおばあさんだと思っていた。

それから何年か経ち、私の祖父もまだ少しだが、物忘れが多くなってきた。今は普通に生活できるが、数年後には家で生活できなくなってもおかしくないそうだ。年を重ねれば、誰だって認知症になるリスクは高くなることがわかった。

私はふと、数年前のおばあさんの事を思い出した。あのおばあさんも、引越してきたばかりの頃は普通に生活をしていた。彼女が数年前周りの家を何度も訪ねていたのは、迷惑をかけようとしたのではなく、娘が心配だったからなのだ。その時、近所の人がとるべき行動は何だったのだろうか。

私は、「必ず帰ってきますよ。」な

どの優しい言葉をかけ、誰かがそばにいてあげるべきだったのではないかと思う。そうしたら、きっと安心して娘の帰りを待てたのではないか。

私は、申し訳ないという気持ちでいっぱいになった。あの時、何かおばあさんを支えてあげられるような事ができていたら。そして、これからお年寄りの方とどのように接していくか、考えるきっかけにもなった。

あなたは、身近にいるお年寄りにどのように接していますか。困っている人を無視して通りすぎてはいませんか。声をかけるのは、とても勇気のいることです。時には見当違いとなってしまうこともあるかもしれません。それでは、助けを求められた時はどうでしょうか。私は、どうすればいいのか困ってしまい、「じゃあいいよ。」と言われることがよくあります。まずは優しく、丁寧に接することが大事なのだと思います。私も、これから心がけていきたいです。

人にした事は必ず返ってくる、とよく言いますが、それは自分の行動をそばにいる人が真似するからだと思っています。私たち一人一人が世代に関わらず支え合っていくことで、本当の「支えあえる社会」になっていくのではないでしょうか。

優良賞

「一つの行動で人を笑顔にする」

涌谷中学校　3年
岩渕（いわぶち）　心春（こはる）　さん

みなさんは、ボランティア活動をしたことはありますか。私は小学校の頃に授業の一環として、草取りをしたことしかありませんでした。しかし、私はいつも思っていたことがあります。それは、「町のためにもっと貢献したい」ということです。

そのようなことを思いながら過ごしていたある日のことです。朝登校する時に地域の方が朝早く草取りや、小学生などが安全に登校できるようにサポートしている光景を目にしました。私はその時、今まで安全に過ごせていたのは地域の方のおかげだったのだと思いました。

その日をきっかけに、まずはちょっとしたことからスタートしようと思い、ゴミ拾いをはじめました。一週間に一回は必ずすると心に決めた日から一ヶ月後のことです。私は中学生になり、部活動と勉強の両立が難しくボランティアをしなくなっていました。特に部活動は毎日のように練習で家に帰ってもすぐ疲れて寝てしまうという日々が続いていきました。

私が毎週ゴミ拾いをしていた時に必ず近所のおばあさんにいつも声をかけてもらっていました。おばあさんはいつもニコニコしていて「頑張ってね」や「すごいね」などちょっとした言葉でもかけてくれていて、私にとってはとても嬉しくてやりがいを感じさせてくれていました。

いつも通り登校していた日です。私が歩いているとうしろから声がして振り向くとあのおばあさんがいました。

「お久しぶり、いつもありがとね。」

私はその時とても嬉しい気持ちになりました。毎週頑張っていたことが役に立ったと思い、やっと町に貢献できたと実感しました。

今まで私は、ゴミ拾いをしてて通りすぎた方にあいさつしかされませんでしたが、いつも声をかけてくれたおばあさんの「ありがとう」という言葉は私にとってかけがえのない言葉となり、自分を変えるきっかけとなりました。

その言葉を言われてから私は、必ず月一回ゴミ拾いをすることにしました。部活動の練習の関係上ゴミ拾いの回数は減ってしまいましたが、私がゴミを拾いに行くと必ずおばあさんが来てくれて笑顔で毎回声をかけてもらえます。そのおかげで私のやっていることは町や地域の方々、そしておばあさんを笑顔にしていると気付きました。これからもたくさんの笑顔を集めて涌谷町全体を笑顔いっぱいにしていきたいと思います。

●ポスターの部●

優良賞

涌谷中学校　2年
中村（なかむら）　凰雅（おうが）　さん

優良賞

涌谷中学校　3年
佐藤（さとう）　美咲（みさき）　さん

●標語の部●

優秀賞

支え合い
皆の力で
町づくり

涌谷中学校　3年
鈴木（すずき）　勇斗（ゆうと）　さん

優良賞

すぐそこに
ぼくらが担う
地域力

涌谷中学校　2年
中村（なかむら）　凰雅（おうが）　さん

優良賞

思いやり
手と手がつなぐ
福祉の輪

涌谷中学校　3年
平澤（ひらさわ）　春輝（はるき）　さん

お知らせ

赤い羽根共同募金からのお知らせ【お詫び】

町民の皆様には赤い羽根共同募金へご協力頂き誠にありがとうございます。

募金について町民の皆様から「金額を指定された」などのお叱りの声を頂きました。共同募金はあくまで皆様の善意の募金であり金額を指定して協力をお願いするものではありません。今後、募金協力をお願いする際は、このようなことが無いよう肝に銘じ改善して参ります。あらためて皆様にお詫び申し上げます。

心温まる善意ありがとうございました

（8月24日から10月25日）

▽**寄附物品**

・伊藤　勝秋　様　　新米60キロ

・匿名　様　　毛布、クッション、食器等

※この度の台風第19号に伴う寄付につきましては、次号（137号）で掲載させていただきます。

令和元年台風第19号災害義援金を募集します

この度の台風第19号により、各地で甚大な被害が発生しました。

涌谷町共同募金委員会では、被災者支援の一助のため、義援金の募集受付を行います。

▽**受付期間**　令和2年3月31日まで

▽**口座振込での募金**

七十七銀行　県庁支店

普通預金　5012230

宮城県共同募金会

令和元年台風第19号災害義援金

会長　本木隆

※同行窓口からの振込は手数料無料。

▽**現金での募金**　涌谷町共同募金委員会にて受付いたします。

▽**問合先**　☎43－6661

総務企画係・山根

むすび丸ピンバッジでみやぎの子ども食堂を応援しよう

宮城県共同募金会では、「むすび丸ピンバッチ」を頒布し、子ども食堂を運営する団体へ助成する事業を行っています。涌谷町共同募金委員会でもコラボバッジの取り扱いを行います。

▽**頒布開始**　11月1日から

▽**応援価格**　500円

▽**問合先**　☎43－6661

総務企画係・山根

わくやふれあいフェスタ2019を開催します

障がいの理解啓発を目的に、フェスタを開催します。

▽**日時**　11月30日　10時～13時

▽**内容**

①荒川知子とファミリーアンサンブル

②アーティストGOMAライブアート

※飲食（どんどん焼き、ジェラート等）・体験（野菜釣り、ネイルアート等）ブース等もございます。

▽**場所**　涌谷公民館

▽**問合先**　☎25－9675

涌谷町基幹相談支援センター

（結の郷　わくや）

障がい者理解啓発講座を開催します

障がいについて一緒に学んでみませんか？当事者の方やご家族、支援者等「知りたい」「学びたい」と思っている方はぜひ参加ください。

▽**日時**　12月17日　10時～11時

▽**内容**　安心した生活のために～権利と財産を守る成年後見制度～

▽**講師**　涌谷町地域包括支援センター　佐々木敦氏

▽**場所**　ゆうらいふ

▽**問合先**　☎25－9675

涌谷町基幹相談支援センター

（結の郷　わくや）

生活相談所を開設しています

「介護が大変」「毎日の生活が不安」「人間関係で悩んでいる」等、一人で悩んでいませんか？まずはご相談ください。

▽**日程、場所**

①11月27日／箆岳地域ケアセンター

②12月25日／ゆうらいふ

③1月22日／箆岳地域ケアセンター

▽**時間**　13時～15時

▽**問合先**　☎43－6661

地域支援係・草刈

※介護認定やサービス利用等介護に関するご相談も、お気軽にお問い合わせください。

▽**問合先**　☎43－6661

ゆうらいふ居宅介護支援サービス

フードバンク事業を実施しています

生活費が苦しい、その日の食べものを必要としている方に食料品をお分けする活動を行っています。

まずはお住まいの行政区の民生委員児童委員にご相談ください。

▽**問合先**　☎43－6661

地域支援係・草刈

長寿お達者教室を開催しています

アタマの体操・カラダの体操を通して、身体機能の維持や認知症予防を目指します。多くの方の参加をお待ちしています。

▽**場所、日程**
①ゆうらいふ／11月13日、12月18日、1月15日
②涌谷公民館／11月11日、12月9日、1月6日
③箟岳地域ケアセンター／11月12日、12月17日、1月14日
▽**時間**　10時～11時30分
▽**持ち物**　上靴、タオル、運動しやすい服装、飲み物　等
▽**参加費**　200円（申込不要）
▽**問合先**　☎43－6661
地域支援係・山田

「エプロンおばさんと遊ぼう広場 クリスマススペシャル」を開催します

▽**日時**　12月12日　10時～11時30分
▽**対象**　未就学児とその保護者
▽**内容**　クリスマスならではのお楽しみがいっぱいです！
▽**場所**　ゆうらいふ
※参加費、申込は不要です。
※定例開催は、毎週木曜日（祝祭日除く）午前10時からです。
▽**問合先**　☎43－6661
地域支援係・大内

介護予防出前事業「脳力アップ倶楽部」活用ください

地域や企業でのサロン活動や健康教室等へ社協職員がお伺いし、認知症予防の脳トレや講話等を行います。お気軽にお問い合わせください。

▽**問合先**　☎43－6661
地域支援係・山田

地域行事で役立つ物品貸し出します

大人から子どもまで楽しめるレクリエーション物品や防災行事で役立つテント等を貸し出しています。お気軽にお問い合わせください。

▽**貸出物品**　※一部掲載
【レクリエーション】輪投げ、射的、的当て、ミニカーリング、カルタ、ボウリング、お手玉、スカットボール、ペタンク、助け合い体験ゲーム
【防災】行事用テント、発電機、かまどセット
【その他】法被、紅白幕
▽**問合先**　☎43－6661
地域支援係・山田

お詫びと訂正

前号（135号）6頁で田中禾子（たなかいねこ）さんの100歳祝いを掲載した際、お住まいの行政区に誤りがありました。
左記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
【正：脇区】【誤：小里区】

涌谷町災害ボランティアセンター開設

台風第19号により床上・床下浸水等の被害が発生したことを受け、10月15日から23日まで涌谷町災害ボランティアセンターを開設し、住民の被災ニーズに対応しました。

支えあおう

多くのボランティアの協力により、寄せられた畳上げや泥撤去等の困りごとに対応しました。なお、詳しい活動内容等は、次号（137号）に掲載いたします。

問合先　☎43－6661（担当：地域支援係）

おらほの良いとこみ～つけた!!

各行政区の地域福祉会からご報告いただいている活動や、生活支援コーディネーターが取材した活動等を掲載しておりますが、地域には職員が知らない活動がまだまだたくさんあります。「こんなのもやってるでば！」「おらほさ来てけさいん」とぜひお声がけください。

問合先 43-6661（担当：地域支援係・高橋）

新山速玉雄神社の宵祭りには、子どもたちも遊びに来てくれて、とても賑やかでした。

老人クラブの年6回の定例会では、「ボケない小唄」を皆で熱唱！それが開会の合図です。

雨のためグラウンドゴルフ大会は延期になりましたが、お楽しみの芋煮会は開催しました。

脳トレあり、演芸あり！笑い声が絶えず、大盛り上がりの敬老会でした。

お茶っこ飲み会で脳トレに取り組み、ちょうど良い頭の体操になりました。

赤飯や吸い物、漬物など、手作りの料理が並び、あたたかな敬老のお祝い会になりました。

編集後記

今回の台風第19号の被害に遭われた皆さま方に、お見舞い申し上げます。

社協も床上浸水に遭われましたが、職員総動員で社協の今までの活動の流れを止めることのないようがんばっている姿には頭が下がります。涌谷でも災害ボランティアセンターが開設されて、たくさんの方々のご協力をいただき、その活動は次号に掲載予定です。

今月号は、福祉作文・ポスター・標語コンクール入選作品を紹介しています。子どもたちの福祉に対する考え、気持ちを多くの人たちに知ってもらえればいいなあと思います。

広報委員

ボランティアグループ「あけぼの会」

【朗読テープの貸し出し】

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障がい者の方、介護者の方など、お気軽にご利用ください。

☎43－6661（担当：地域支援係）

編集・発行
社会福祉法人 涌谷町社会福祉協議会
ふれあいネットワーク

〒987-0121 宮城県遠田郡涌谷町新下町浦192番地
涌谷町高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」内
TEL(0229)43-6661 FAX(0229)43-6670
E-mail:shakyo@wakuya-sfk.net
ホームページ：http://www.wakuya-sfk.net/